

国労東日本

港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 菊池忠志
編集責任者 伊藤隆夫

2015年
9月1日
NO. 57

ダイジェスト版

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を訴えよう!
HP <http://www.e-nru.com/>

8/28 第3回「労働条件に関する協約」改訂交渉 教育・技術継承からも職場には必要な要員配置を!

組合 8月27日の沿線火災を含め、8月中に輸送障害が4件発生している。この間、労働組合として会社には余裕をもった協議の上での施策実施、あるいは検証を求めてきた! 組合との協議を会社としてどの様に活かすのかが重要である!

会社としても輸送障害は重く受け止め、大変多くのお客さまにご迷惑をかけているので、1つ1つ原因を究明し、対策をしていく。各種施策については、今後も労働組合とは真摯に協議しながら進めていく。

< 組合 >

[要員問題]

- 必要な要員を配置しているというが、盛岡支社では動物対策で膨大な時間を要し、通常業務にも支障をきたしている、本社は把握しているのか。
- ある設備職場では亡くなった社員の穴埋めが無い、また他の職場では、科長が夜業をしている実態であり会社の回答は疑問である。

[ハラスメント・メンタルヘルス対策]

- 最近、トータル的に教育が希薄に感じる。「こちらの相談窓口」に求める人は自分で認識しているが、問題は自覚のない人の対策であり職場のフォローである。

[試験問題]

- 試験に対する前・後のフォロー体制、本社と現場の感覚が違う。管理者の意識が問題である。

[出向に関して]

- 北海道新幹線開業に向け、青森の職場では個人面談が行われているが本社の指導か。
- 和解の懸案事項、秋田から山形・仙台への配転問題解消の努力を改めて求める。

< 会社 >

- 基本的には各支社で業務の実態を見て判断する事である。



- 引き続き、様々な対策をしっかりとっていく。



- きちんと不合格者に対しては人材育成の観点からも個別指導していく。

- 把握はしていない。基本的には、再雇用先の確保は会社の使命で、あり得る話ではある。

- 各支社でも責任を持ち努力している。